

「新規採用教職員・辞令交付式」

令和4年4月1日

みなさん、おはようございます。教育長の森田雅彦です。

ただ今、辞令をお渡しし、着任校をお伝えしました
新規採用の先生、豊能町への採用本当におめでとうございます。今日から豊能町
公立学校教員として、豊能町の子ども達に、学習指導要領に基づく公教育を進め
て頂きますこと、お一人おひとりしっかりと心に刻んでおいてください。

辞令交付式にあたって3つのこととお話させていただきます。

一つ目は、節目では、これまでをふり返り、目標を立てることについて

人生には幾つかの節目があります。仕事の上では、就職、異動、昇格、退職、
そして新たな年度を迎える時。そのような節目の時には、これまでを振り返り、
新たな目標をもって新たな気持ちで臨んでいただきたいと思います。

二つ目は、「豊能町で行う教育」「豊能町でしかできない教育」を創り上げていく ことについて

令和8年4月、東・西地区それぞれに9年制の義務教育学校を開校するまであと4年。まだ4年あるのでなく、あと4年しかありません。今年度は、豊能町教育基本指針でも冒頭の「未来を拓く教育をめざして」でお示ししていますように

- ① 「保幼小中一貫カリキュラム」の作成
- ② 「とよの未来科」の試行実施
- ③ 保育所・幼稚園からの英語活動・教育の検討

これまで準備してきたことを、みんなで一つずつ形に仕上げていく年です。

また、1年半の準備委員会での検討を経て、「地域とともにある学校」**学校運営協議会**がいよいよスタートします。学校・家庭・地域そして行政が一つになって学校や子ども達、地域の課題について「熟議」を通じて「協働」で取り組みを進めていきます。そのためにも、「豊能町の事よく知って」教壇に立ってください。

三つ目は、先生は、「子ども達を教え・育てる」プロであっていただきたい。またプロを目指していただきたい。

子ども達にとって、経験1年目の先生、10年目、30年目すべて先生です。人が人を教えることは難しいことです。しかし、子ども達にとって、小学1年生は、1度しかありません。私の家族は、親子3代小学校の先生ですが、父親から教職に就く時「小学校の先生は1年から6年をもって一人前やで」と言われました。1年から6年まで受け持つのに10年かかりました。最後に1年生を担当し、

全校朝礼で子ども達に話をし、父親の言ったことが分かりました。

ギガスクール、タブレット、プログラミング教育などの導入により「**学校が変わる、授業が変わる**」と言われています。どうか子ども達を教え・育てるプロをめざしてください。そして、**子ども達に声をかける。子ども達の声聞く。**

子ども達の心の声を聞ける先生であって欲しいと思います。

「毎日、笑顔で子ども達を迎える。」「褒めて育てる」

「一人ひとりのいい所を見つけ伸ばしてあげる」

節目の時、どうか新たな気持ちでスタートを切ってください

以上で、辞令交付式にあたっての訓示といたします。



※ 今年度は、小学校2名、中学校（英語）1名、中学校（理科）1名が豊能町の新規採用となりました。（その他、郡内交流での転入4名、教頭1名・首席1名・指導教諭1名の昇格がありました。）